

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成24年4月の動向

- 広島市総合指数（100.5）は前月比で4か月ぶりの下落。前年同月比は3か月連続で上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.4）は前月比で同水準。前年同月比は2か月連続で上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.6）は前月比で同水準。前年同月比は8か月連続の下落。

## 2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.5	▲0.3	0.3
生鮮食品を除く総合指数	100.4	0.0	0.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.6	0.0	▲0.1

## 3 前月からの動き

～被服及び履物，交通・通信は上昇，食料は下落。～

### (1) 10大費目の動き

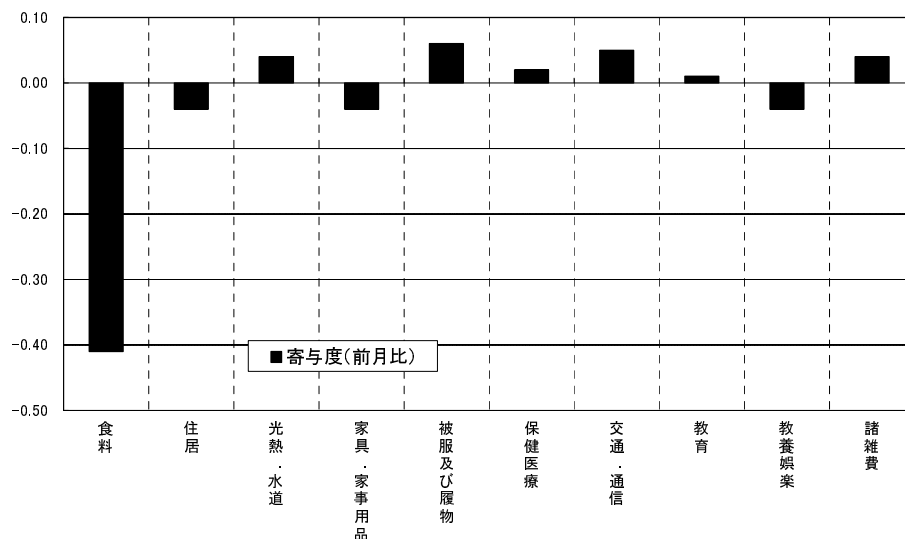
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.5	100.0	99.2	105.6	101.0	102.9	98.8	102.2	98.4	97.0	103.4
前月比 (%)	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.2	0.6	▲ 1.1	1.4	0.4	0.4	0.2	▲ 0.4	0.6
寄与度	▲ 0.3	▲ 0.41	▲ 0.04	0.04	▲ 0.04	0.06	0.02	0.05	0.01	▲ 0.04	0.04

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

被服及び履物：シャツ・セーター類（前月比 6.8%，寄与度 0.07）等

食 料：果 物（前月比 ▲12.7%，寄与度 ▲0.14）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ [半袖] 等)	6.8%	果物 (いちご 等)	▲12.7%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.4%	魚介類 (えび 等)	▲5.0%
通信 (携帯電話機 等)	0.8%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲3.4%
電気代 (電気代 等)	0.5%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲3.4%
ガス代 (都市ガス代 等)	1.0%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.3%

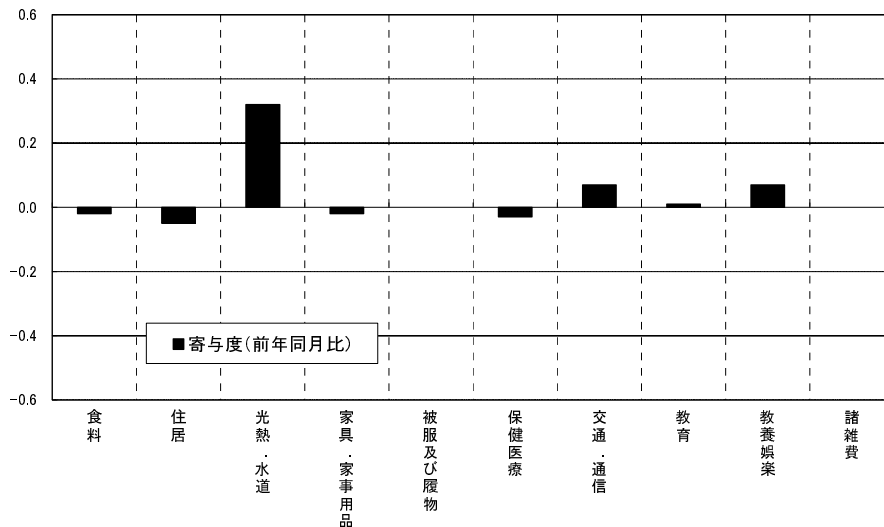
4 前年同月からの動き  
～光熱・水道が上昇し、住居が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.3	▲0.1	▲0.2	4.2	▲0.6	0.0	▲0.6	0.5	0.2	0.6	0.1
寄与度	0.3	▲0.02	▲0.05	0.32	▲0.02	0.00	▲0.03	0.07	0.01	0.07	0.00

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目  
 光熱・水道：電 気 代 (前年同月比 5.9%, 寄与度 0.21) 等  
 交通・通信：自動車等関係費 (前年同月比 1.7%, 寄与度 0.12) 等  
 住 居：家 賃 (前年同月比 ▲0.4%, 寄与度 ▲0.07) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
電気代 (電気代 等)	5.9%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲5.7%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.7%	肉類 (豚肉[もも肉] 等)	▲3.9%
ガス代 (都市ガス代 等)	5.2%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.4%
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	5.0%	調理食品 (すし[弁当] 等)	▲1.9%
野菜・海藻 (トマト 等)	2.8%	油脂・調味料 (食用油 等)	▲5.2%